

# 金沢大学未来ビジョン



2022年5月20日  
改革戦略室

# はじめに

## 金沢大学長 和田 隆志



金沢大学は、1862（文久 2）年に創設された加賀藩彦三種痘所を源流とし、旧制第四高等学校、石川師範学校、石川青年師範学校、金沢高等師範学校、金沢医科大学、金沢工業専門学校などの前身校の歴史と伝統を受け継ぐ総合大学です。

諸先輩が築き上げてきた歴史を礎に、金沢大学憲章に掲げる「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚して、金沢大学の揺るぎない未来ビジョン『志』を、学内並びに社会に示します。

金沢大学が目指すビジョン『志』は、地域と世界の2つの視点を互いに往還させながら、現在の課題を解決するとともに、未来の課題を探求し克服する知恵「未来知」により社会貢献を果たすことです。

『志』として掲げる未来知による社会貢献に向け、研究、教育、経営のあるべき姿を掲げます。具体的には、研究面では「独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成」、教育面では「社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出」、経営面では「人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現」です。

これら3つのあるべき姿は、互いに密接に関連します。研究と教育が互いに好影響をもたらすポジティブループを形づくり、同時に確固たる経営・マネジメントがその基盤を支えます。3つの機能を一体とし、『志』として掲げる未来知により社会に貢献する、これが金沢大学の目指すビジョンです。

基本理念のもと、揺るぎない未来ビジョン『志』を明確にし、研究、教育、経営それぞれのあるべき姿を掲げました。そのビジョンに向け、“いま”金沢大学が何を為すべきかというミッションと、“いま”金沢大学が何を行うのかという個々のアクションプランを掲げます。

この未来ビジョン、ミッションと、そこから導き出されるアクションプランは、学生、教員、職員がそれぞれの立場を超え、共有し、互いの尊重と協働のもとで取り組むことにより、初めて実現できるものです。それゆえに、学生・教職員一人一人が金沢大学の宝、財産であることを心に留め、「オール金沢大学」として邁進していく所存です。

社会の皆様からのご理解とご協力、並びに叱咤激励を心からお願い申し上げます。

## 全体構造

## 概要

## 金沢大学未来ビジョン『志』

## オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

大学憲章に掲げる基本理念に立脚し、金沢大学が目指す揺るぎない未来ビジョンを示しています。

## あるべき姿

**研究** 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

**教育** 社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

**経営** 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

『志』として掲げる未来知による社会貢献に向け、人文社会科学、自然科学、生命科学等、多様な分野を有する総合大学としての研究、教育、経営に対するあるべき姿を明示しています。

研究、教育、経営のあるべき姿に向かって、それぞれ「組織・体制の構築と発展」「大学人材（学生・教職員）が有する力の萌芽と伸長」「社会との和の創造と深化」の3つの視点から、“いま”金沢大学が何を為すべきかという3つのミッションを掲げています。

このように導かれた27のミッションが相互に関連しながら、『志』の実現を目指します。

研究、教育、経営それぞれのあるべき姿と各ミッションを達成すべく、第4期中期目標・中期計画等も視野に入れて邁進いたします。“いま”金沢大学が何をを行うのかを自答し、ミッションごとにそれぞれアクションプランを明確にします。併せて、今後2年間のタイムテーブルを設定し、迅速かつ大胆に大学改革・機能強化に取り組みます。

基本理念 **地域と世界に開かれた教育重視の研究大学**

揺るぎない  
未来ビジョン **金沢大学の「志」**  
オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

**独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成**

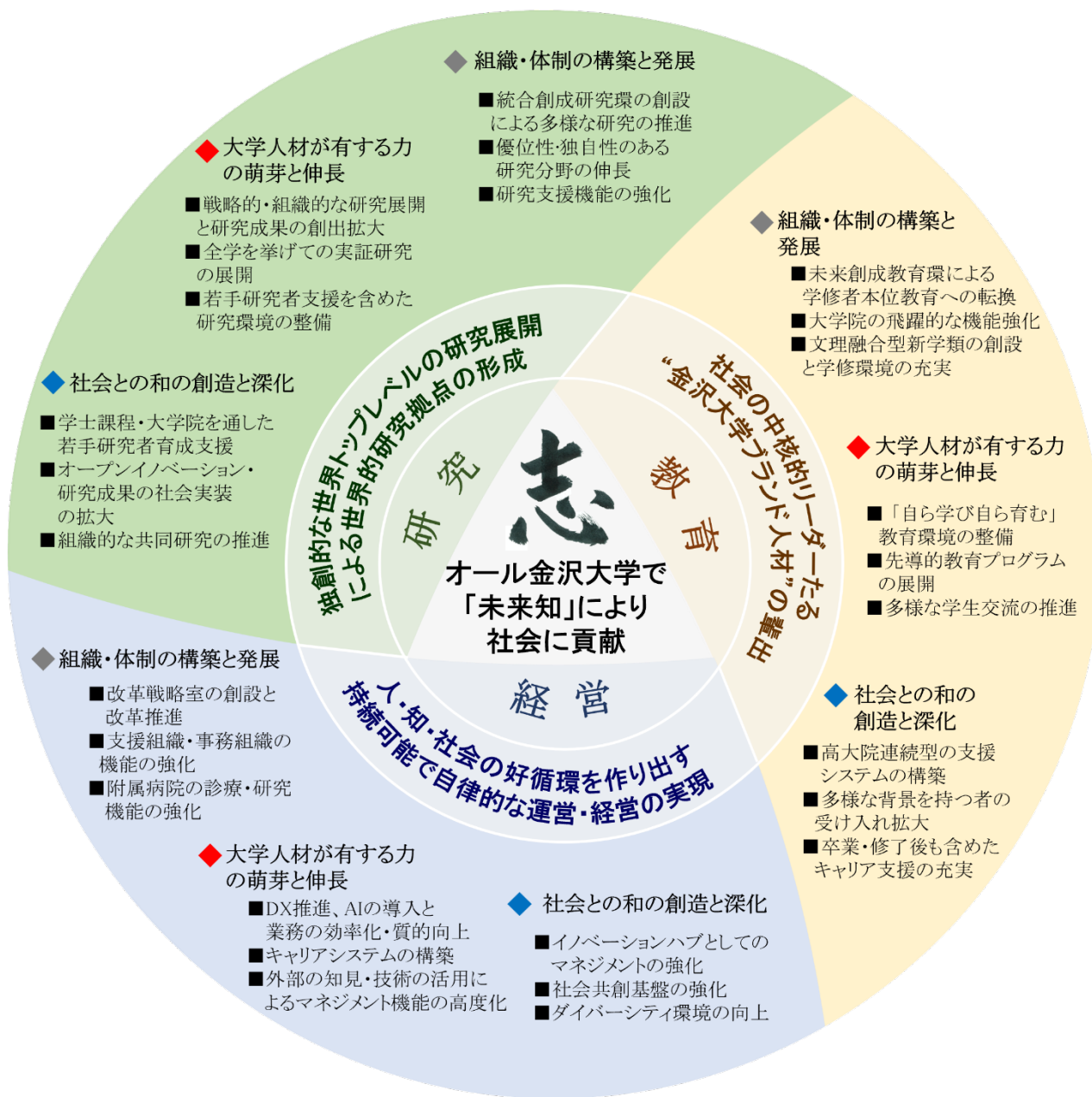
3つの  
あるべき姿 **社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出**

**人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現**

**大学院の飛躍的な機能強化**

最重点  
ミッション **優位性・独自性のある研究分野の伸長 “世界的研究拠点の形成”**

**全学を挙げての実証研究の展開**



## ■研究 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

### 1 組織・体制の構築と発展

- ミッション① 統合創成研究環の創設による多様な研究の推進
- ミッション② 優位性・独自性のある研究分野の伸長
- ミッション③ 研究支援機能の強化

### 2 大学人材が有する力の萌芽と伸長

- ミッション① 戦略的・組織的な研究展開と研究成果の創出拡大
- ミッション② 全学を挙げての実証研究の展開
- ミッション③ 若手研究者支援を含めた研究環境の整備

### 3 社会との和の創造と深化

- ミッション① 学士課程・大学院を通じた若手研究者育成支援
- ミッション② オープンイノベーション・研究成果の社会実装の拡大
- ミッション③ 組織的な共同研究の推進

## ■教育 社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

### 1 組織・体制の構築と発展

- ミッション① 未来創成教育環による学修者本位教育への転換
- ミッション② 大学院の飛躍的な機能強化
- ミッション③ 文理融合型新学類の創設と学修環境の充実

### 2 大学人材が有する力の萌芽と伸長

- ミッション① 「自ら学び・自ら育む」教育環境の整備
- ミッション② 先導的教育プログラムの展開
- ミッション③ 多様な学生交流の推進

### 3 社会との和の創造と深化

- ミッション① 高大院連続型の支援システムの構築
- ミッション② 多様な背景を持つ者の受け入れ拡大
- ミッション③ 卒業・修了後も含めたキャリア支援の充実

## ■経営 人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

### 1 組織・体制の構築と発展

- ミッション① 改革戦略室の創設と改革推進
- ミッション② 支援組織・事務組織の機能の強化
- ミッション③ 附属病院の診療・研究機能の強化

### 2 大学人材が有する力の萌芽と伸長

- ミッション① DX推進、AIの導入と業務の効率化・質的向上
- ミッション② キャリアシステムの構築
- ミッション③ 外部の知見・技術の活用によるマネジメント機能の高度化

### 3 社会との和の創造と深化

- ミッション① イノベーションハブとしてのマネジメントの強化
- ミッション② 社会共創基盤の強化
- ミッション③ ダイバーシティ環境の向上

## 研究

# 独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

本学では、これまで強み・特色のある研究分野等への集中投資を行っています。「世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）」ナノ生命科学研究所に代表されるように、研究力が飛躍的に向上しています。

これまでの歴史と真理の追求を礎に、現在の課題を踏まえ、フォワード／バックキャストにより、多様な幅広い裾野をもつ基礎研究・応用研究・融合研究を推進します。また、社会実装に向けキャンパス内での実証研究を展開します。これにより、世界の「知」、最先端研究をリードし、社会的インパクトを生む総合知のイノベーションハブとして、未来知により社会の発展に寄与することを目指します。

『志』の実現に向け、研究において以下の3つの視点から9つのミッションを掲げます。また、アクションプランとして、“いま”何を行うのかを明確にした上で、大学改革・機能強化に取り組みます。

## 1 組織・体制の構築と発展

世界トップレベルの研究展開、世界的研究拠点の形成に向け、研究を牽引する組織の整備や研究支援体制の強化により、研究力を強化します。

### ミッション① 統合創成研究環の創設による多様な研究の推進

【アクション】新たな融合研究を牽引する、学長直轄の組織「統合創成研究環」を創設します。

幅広い領域の基礎研究・応用研究、融合研究をより一層推進します。

### ミッション② 優位性・独自性のある研究分野の伸長

【アクション】複数の特定分野で世界を先導するWPI級拠点の形成を目指し、本学に優位性・独自性のある研究分野を戦略的・組織的に抽出・支援します。

### ミッション③ 研究支援機能の強化

【アクション】研究支援機能の強化に向け、URA、技術職員等の研究支援人材像を明確化します。

URA・技術職員等の個性を生かした研究支援を展開します。

## 2 大学人材が有する力の萌芽と伸長

世界トップレベルの研究展開、世界的研究拠点形成に向け、研究環境を整備し、意欲的な研究人材を育成することにより、研究力を強化します。

### ミッション① 戦略的・組織的な研究展開と研究成果の創出拡大

【アクション】研究戦略プロジェクト、コアファシリティ構築支援プログラム等を洗練し、展開します。特定・新分野の開拓、多様な基礎研究の推進等を戦略的・組織的に行い、研究成果の創出を大幅に拡大します。

### ミッション② 全学を挙げての実証研究の展開

【アクション】産学協働研究拠点を中心に、キャンパス内の実証研究環境を整備するとともに、企業・自治体等と連携し、全学を挙げて実証実験を実施します。

### ミッション③ 若手研究者支援を含めた研究環境の整備

【アクション】教育・研究等の支援に関する個々の専門知識・技術の伸長や組織的な支援を実施します。研究環境の更なる充実等、若手研究者支援を含め、本学における研究力の一層の向上に向けた環境整備を行います。

## 3 社会との和の創造と深化

世界トップレベルの研究展開、世界的研究拠点の形成に向け、社会との共創による研究展開と研究成果の社会実装を拡大することにより、研究力を強化します。

### ミッション① 学士課程・大学院を通じた若手研究者育成支援

【アクション】次世代研究者挑戦的研究プログラム等を展開します。

総合大学のスケールメリットを生かし、学士課程から博士後期課程までシームレスに次世代の我が国を牽引するイノベーション人材を支援します。

### ミッション② オープンイノベーション・研究成果の社会実装の拡大

【アクション】先端科学・社会共創推進機構における企業等と連携した社会共創に関する新たなプロジェクトを実施し、研究成果の社会実装を拡大します。

### ミッション③ 組織的な共同研究の推進

【アクション】研究成果の創出、社会への還元に向け、産学連携、産学官金連携を組織的に推進します。

企業等と連携した社会共創に関するプロジェクトや共同利用・共同研究拠点における国際的な共同研究等を展開します。

## 教育

# 社会の中核的リーダーたる “金沢大学ブランド人材”の輩出

AI や IoT の高度化、新型コロナウイルスの拡大等、世界中で急激な社会の変化が起こっています。このような中、現代の課題解決を先導するとともに、未来の課題を探求し克服する人材が求められています。

本学では、自己の使命を国際社会や地域社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなり、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける人材像を、金沢大学<グローバル>スタンダード (Kanazawa University “Global” Standard: KUGS) として掲げています。このような「金沢大学ブランド人材」を輩出することを目指します。

『志』の実現に向け、教育において以下の3つの視点から9つのミッションを掲げます。また、アクションプランとして、“いま”何を行うのかを明確にした上で、大学改革・機能強化に取り組みます。

## 1 組織・体制の構築と発展

「金沢大学ブランド人材」の育成・輩出に向け、教育改革を包括的に推進するための体制整備や教育組織の再編等により教育機能を強化します。

### ミッション① 未来創成教育環による学修者本位教育への転換

【アクション】 学長直轄による教育改革の抜本的飛躍を担う未来創成教育環を創設し教育改革を推進します。様々な学内教育リソースを集約化、見える化し、教育改革の主軸を学生主体に切り替え様々な学びを学生に提供します。

### ミッション② 大学院の飛躍的な機能強化

【アクション】 グローバルに活躍するイノベーション人材や地方創生に寄与する「知のプロフェッショナル人材」の育成に向け、人文・社会科学系、自然科学系、基礎医学・薬学研究者等の養成に係る組織を再編します。  
博士後期課程を中心に大学院の入学定員を拡大します。

### ミッション③ 文理融合型新学類の創設と学修環境の充実

【アクション】 社会のニーズ等を踏まえ、融合学域における文理融合型新学類を創設します。学士課程における編入学を含む学生定員を拡大します。



## 2 大学人材が有する力の萌芽と伸長

“金沢大学ブランド人材”の育成・輩出に向け、学び・知を醸成する教育環境の整備等により、教育力を一層強化します。

### ミッション① 「自ら学び・自ら育む」教育環境の整備

【アクション】ポストコロナの新たな時代を見据えたVR技術等の新しい教育手法の拡充を軸とする「育み支える教育」へ質的転換を行います。学修者が自らの興味に基づき、自ら学べるデジタルコンテンツ・教材を充実します。

### ミッション② 先導的教育プログラムの展開

【アクション】不確実な社会であっても活躍できる人材を育成するため、「知識集約型先導STEAM 人材育成プログラム」等の教育プログラムを展開します。

### ミッション③ 多様な学生交流の推進

【アクション】国際社会や地域社会において多様な価値観を受入れ、活躍できる人材を育成するため、多様な背景を持つ学生が学び合い、成長できる交流の場を提供します。

## 3 社会との和の創造と深化

“金沢大学ブランド人材”の育成・輩出に向け、多様な学生を入学から卒業・修了後まで一貫して支援します。学生と大学、学生間、学生と社会との和を強化します。

### ミッション① 高大院連続型の支援システムの構築

【アクション】高大接続に始まり学士課程、大学院まで一貫した教育・学生支援を行います。

### ミッション② 多様な背景を持つ者の受け入れ拡大

【アクション】留学生、社会人等の多様な背景を持つ者の受け入れを拡大するための入試改革を行います。ダイバーシティ環境での教育を充実します。

### ミッション③ 卒業・修了後も含めたキャリア支援の充実

【アクション】学生の専門的知見の伸長に加え、新たな社会で必要とされる知識・知恵・スキルを醸成するための社会との連携を強化します。卒業・修了後も学び続ける者等、多様なニーズに応じ、リカレント教育を充実します。

## 経営

# 人・知・社会の好循環を作り出す 持続可能で自律的な運営・経営の実現

大学が社会からの期待に応え、その役割を果たす上で、持続的な競争力を持ち、高い付加価値を生み出すことが求められています。強みや特色を最大限に生かし、学問の進展やイノベーション創出などに最大限貢献できる組織へ転換していくことが不可欠です。

社会的インパクトを生む総合知のイノベーションハブとなるべく、学長のリーダーシップの下、教員と職員が協働し先駆的・戦略的な改革を推進します。多様なステークホルダーとのエンゲージメントを通じた大学経営、資金・人・知が好循環する持続可能な運営・経営の確立を目指します。

『志』の実現に向け、経営において以下の3つの視点から9つのミッションを掲げます。また、アクションプランとして、“いま”何を行うのかを明確にした上で、大学改革・機能強化に取り組みます。

## 1 組織・体制の構築と発展

持続可能で自律的な運営・経営の実現に向け、学長直轄の大学改革の司令塔となる組織を創設します。大学改革の進展に応じた事務組織の再編、附属病院の機能強化等により体制を強化します。

### ミッション① 改革戦略室の創設と改革推進

【アクション】先駆的・戦略的な改革を迅速に推進するため、学長直轄の改革戦略室を創設します。

教員と職員が協働し、組織的・機動的に機能強化やマネジメントに係る改革を行います。

### ミッション② 支援組織・事務組織の機能の強化

【アクション】目的やプロジェクトに応じ、柔軟に支援組織や事務組織を再編します。また、プロジェクト等に応じ、組織横断的に業務を遂行する体制を構築します。

### ミッション③ 附属病院の診療・研究機能の強化

【アクション】附属病院の診療機能や研究機能の強化に向け、診療棟や医療機器等の計画的整備、高度臨床研究の推進等、ポストコロナ時代を見据えた附属病院改革を行います。

## 2 大学人材が有する力の萌芽と伸長

持続可能で自律的な運営・経営の実現に向け、職員の業務効率の向上や仕事の質的向上を図るため、外部の知見の活用も含めた働き方改革を推進します。

### ミッション① DX推進、AIの導入と業務の効率化・質的向上

【アクション】 AI を活用した業務の合理化・自動化等、DX推進により、ICTを活用した業務改善を行います。蓄積されたデータを利用したIR機能を強化します。会議の縮減、会議時間の短縮等を推進します。これにより、クリエイティブな活動に割く時間を創出します。

### ミッション② キャリアシステムの構築

【アクション】 URA・技術職員・事務職員等のキャリアシステムを再編するとともに人事給与制度改革を行います。

### ミッション③ 外部の知見・技術の活用によるマネジメント機能の高度化

【アクション】 外部資金の獲得拡大など経営マネジメント等に係る抜本的改革を推進します。  
外部人材・多様な人材を登用し、外部の知見・技術を活用します。  
また、その知見・技術を学内で共有し、職員のマネジメント能力の向上を図ります。

## 3 社会との和の創造と深化

持続可能で自律的な運営・経営の実現に向け、社会とのサーキュレーションの確立のための連携体制を強化します。

### ミッション① イノベーションハブとしてのマネジメントの強化

【アクション】 最高学府またイノベーションハブとして、本学の知を核に、多様な人材・知・資金が循環するイノベーションエコシステムを展開します。

### ミッション② 社会共創基盤の強化

【アクション】 経営改革を含めたブランディング・広報戦略を抜本的に見直し、その戦略に沿った効果的な広報を行います。  
ステークホルダーからの理解・支持・意見の獲得に係る体制を見直し、エンゲージメントを通じた運営・経営を強化します。  
北陸未来共創フォーラムを中心に北陸地域の多様なステークホルダーと連携し、地方創生に向けた共創事業を拡大します。

### ミッション③ ダイバーシティ環境の向上

【アクション】 ダイバーシティ推進機構を中心として、様々な個性を持つ学生・教職員が志高く自らの能力を最大限に発揮できる「ダイバーシティ環境」を整備します。



[編集・発行] 金沢大学改革戦略室

〒920-1192 金沢市角間町

<https://www.kanazawa-u.ac.jp>